

JMRC 北海道
2007 年第 3 回運営委員会議事録

開催日時	2007 年 7 月 22 日 (日) 13:25 ~ 15:40
場 所	伏古記念会館 2F おおぞら
出席者	中田 国井 佐藤 関根 宮本 森清 三木 西野 藤原 石川 笠原 齋藤 (旭副) 永井 (記)
欠 席	米澤 奥野 楨田 竹道 恒松
出張	なし
配付資料	別紙 1 : シリーズ戦 分担金納入状況 (A4/1 枚) 別紙 2 : 無線機使用料納入状況 (A4/1 枚) 別紙 3 : 後援イベント 終了報告書 (A4/7 枚) 別紙 4 : ジムカーナセミナー報告 (A4/1 枚) 別紙 5 : ジムカーナ部会 部会報告 (A4/1 枚) 別紙 6 : ダートトリアル部会 部会報告 (A4/1 枚) 別紙 7 : JMRC 全国協議会会議 議事録 (A4/3 枚) 別紙 8 : 能登半島地震義援募金報告 (A4/2 枚) 別紙 9 : TEAM ARK 全日本ラリー中止のお知らせ (A4/1 枚) 別紙 10 : 旅費規程変更案 (A4/2 枚)

I 運営委員会議事録の確認

次の議事録について、訂正する。

2006 年第 7 回運営委員会
(誤) 欠席 : 関根

(正) 出張 : 関根

II 継続審議案件1. JMRC 北海道加盟状況 報告 : 事務局

前回の報告から変更はない。

2. 分担金納入状況 報告 : 事務局

7/22 現在の状況を報告した。(別紙 1)

ただし、記入もれと、当日 (7/22) 支払いを受けた物があった。

記入もれ
当日受付

ラリー 第 3 戦 R.T.C
ジムカーナ 第 2 戦 CCR
ダートトリアルチャンピオンシリーズ 第 3 戦 TEAM-OSC
ダートトリアルジュニアシリーズ 第 4 戦 CCR
ダートトリアルジュニアシリーズ 第 6 戦 TEAM-OSC

3. MOSRA 運用 報告：事務局

7/22 現在の状況を報告した。(別紙 2)
ただし、記入もれと、当日(7/22)支払いを受けた物があった。

記入もれ	ラリー 第 3 戦 R.T.C
当日受付	ジムカーナ 第 2 戦 CCR
	ダートトライアルチャンピオンシリーズ 第 3 戦 TEAM-OSC
	ダートトライアルジュニアシリーズ 第 4 戦 CCR
	ダートトライアルジュニアシリーズ 第 6 戦 TEAM-OSC

4. JMRC 北海道互助会 報告：事務局

とくになし。

5. モータースポーツセミナー、後援イベント

5-1 なんちゃって初心者ジムカーナレッスン NO10 報告：事務局

TEAM NERVOUS より 4/8 に開催した後援イベントの報告があった。(別紙 3)

5-1 モータースポーツセミナー ジムカーナ編 報告：石川

4/29 に開催したセミナーの報告があった。(別紙 4)

6. 2008 年度シリーズ戦 報告：事務局

2008 年度のイベントについて、例年通り申請と通告を受け付けることとした。

チャンピオンシリーズ	・・・	8 月末
ジュニア・ビギナーシリーズ	・・・	9 月末
その他	・・・	10 月末

次回運営委員会においてチャンピオンシリーズの認定を行う。

7. 年間表彰式 報告：事務局

アンケートは表彰対象者 180 名とクラブ・団体 51 に対して郵送し、45 の回答を受けた。後日、集計結果を発表する。

III 定例議案

1. 支部報告

1-1 レース 報告：(代) 事務局

特になし。

1-2 ラリー 報告：藤原

7/22（当日）午前中に部会を開催した。
2008 年のシリーズ戦について、聞き取りを行った。
セミナーを 10/7 に新千歳モーターランドダートコースで開催予定。
モータースポーツ専門誌「プレイドライブ」の廃刊に伴い、全国と足並みをそろえて復活嘆願の署名活動を行った。北海道からは 97 名分の署名が集まり、全国では約 2000 名集まったとのこと。
2008 年度の車両区分を次のようにしたいと提案があり、承認された。
A クラス・・・排気量 1,400cc 以下
B クラス・・・排気量 1,400cc を超え、3,000cc 以下
C クラス・・・排気量 3,000cc を超えるもの
なお、地方選手権については次のように申請する予定。
AB クラス・・・排気量 3,000cc 以下
C クラス・・・排気量 3,000cc を超えるもの
いずれも駆動方式による区分は設けない。

1-3 ジムカーナ 報告：石川

部会報告書（別紙 5）が提出された。
その中の 4 項（申し送り書）及び 5 項（Web 担当者）について、承認された。

1-4 ダートトライアル 報告：笠原

7/22（当日）午前中に部会を開催した。（別紙 6）
副部長として和泉氏（MIT ACS）の推薦があり、承認された。
2008 年度のチャンピオンシリーズの車両区分として、今年度の N1 クラスと N2 クラスを併せたものを N1 クラスとする提案があり承認された。（全日本と同様）
2008 年度のシリーズを、チャンピオンシリーズ 7 戦、ジュニアシリーズ 10 戦をめどとし、原則各クラブ 1 戦ずつ主催とすることと、冬期間はその制限を適用しないとの提案があり、承認された。
冬期間、スパイクタイヤの使用について特認申請次第にしたいとの提案があり、承認された。

その他、オートスポーツランド砂川について、コース管理担当者が変わったことにより主催者とのやりとりがうまく行かないことがあるとの報告があり、対策について話し合った。

2. 支部報告2-1 札幌支部 報告：三木

5/8（火）、6/5（火）、7/3（火）に支部会を開催した。
5/8 には、運営委員会の議事録を WEB に掲載してほしいとの要望が出た。
6/5 には、ラリー以外の競技でも救命講習受講者を増やしてほしいと言うことと、ラリー車両のロールケージにサイドバーを義務化してはどうかとの提案があった。
7/3 には、年間表彰式に関するアンケートについて説明が足りなかったとの意見が出された。

2-2 旭川支部 報告：齋藤（代）

4/25に支部会を開催した。
救急講習はクラブ毎の対応とする。
次回に向けて振興策を検討する。

2-3 帯広支部 報告：国井

4/29に支部イベント開催した。
焼肉に参加約60名、走行は約30名だった。

2-4 室蘭支部 報告：西野

10月に支部運動会を企画。場所は白老サーキットダートコース。

3. JAF 専門部会報告

3-1 スピード部会 報告：中田

7/19の会議に出席した。

4. JMRC 運営委員長会議及び JMRC 全国協議会報告 報告：國井

6/29（金）の運営委員長会議に出席した。（別紙7）

5. その他

5-1 能登半島地震義援金 報告：事務局

募金の結果を発表した。（別紙8）WEBにも掲載する。

5-2 TEAM ARK 全日本ラリー 報告：事務局

9/21～23開催予定だったラリー全日本選手権が中止になるとの連絡があった。
（別紙9）

5-3 旅費規程 報告：藤原

既に始めているラリー競技へのCRO派遣と、将来的な案件（審査委員派遣など）に備えて旅費規程変更の提案があり、承認された。（別紙10）

また、旅費の計算に用いる距離について、現状「高速・国道・道道」を調査基準としていたが、これを「国道・道道」とすることとした。

5-4 次回日程

9/9（日）13時からを予定する。

以上。